

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和7年 第 17 週 令和7年4月21日 ～ 令和7年4月27日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

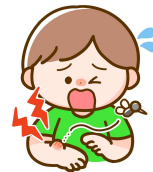
一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第17週】梅毒 患者1名(40代・男性)、百日咳 患者2名(10歳未満・女性、10代・男性)

定点把握の対象となる5類感染症 発生状況 (定点医療機関当たり患者数)

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベル				警報レベル		注意 報レベル
	16 週	17 週	開始	終息			16 週	17 週	開始	終息	
インフルエンザ定点	0.80	0.40	30	10	10	突発性発しん	0.00	0.33			
COVID-19	0.40	0.20				ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	88.00	93.60				流行性耳下腺炎	0.00	0.33	6	2	3
R Sウイルス感染症	3.00	2.00				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	0.67	0.00	3	1		流行性角結膜炎	0.00	1.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.67	3.00	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	12.00	14.67	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	0.00	0.00	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00			
手足口病	0.00	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.00	0.00	2	1		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

蚊が活発に活動する時期です



●病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症があります。

●主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあります。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。

●日本においては日本脳炎以外の蚊媒介感染症は海外からの輸入感染症としてみられていますが、デング熱に関しては2014年に国内感染例が報告されました。

<蚊による感染症の予防のポイント> 蚊に刺されないような予防対策をとりましょう。

- ①屋外の水溜りを減らし、**ボウフラの発生を防ぎ**ましょう。
- ②長袖、長ズボンなど、**肌の露出を少なく**しましょう。
- ③**防虫スプレー**を使用しましょう。
- ④**網戸**を閉め、蚊が家の中に入らないようにしましょう。



※長崎県では日本脳炎の流行予測を目的として、毎年7月から9月の間に日本脳炎ウイルスの増幅動物であるブタのウイルス感染状況を調査しています(諫早市のブタ10頭×8回)。

例年、ブタからの日本脳炎ウイルス抗体の検出またはウイルス検出に基づき、注意喚起情報をお知らせしています。